



カタカタ通信

第39号

「ただいま準備中」

2022年9月12日

天空の里ではアオダイショウを展示していますが、実はもう一種類ヘビを飼育しています。それは「シマヘビ」です。まだ若く、とぐろを巻くと手のひらに収まる小ささ。今年の春生まれと思われます。

シマヘビは河川敷や水田に生息しており、主にカエルを主食としています。体の色は黄褐色や褐色、黒い4本の縦縞模様があります。個体によっては縞模様がないものや、全身真っ黒なカラスヘビとよばれている個体もいて、とても面白いです。

一見アオダイショウのようにどこにでもいそうなシマヘビ。しかし近年は水田や耕作地の減少により、絶滅の恐れはないけれど、なかなか見ることのできない種になってきています。

このようにみなさんの身近にも、コウノトリほどではないけれど、年々数が減っていく生き物がたくさんいることを少しでも知っていただけると嬉しいです。

シマヘビの展示はまだ未定です。楽しみにしていてくださいね！



まだ子どもです



手と比較